

対面式挨拶（4月10日（火））

昨日の開校式・入学式、大変立派でした。新入生代表の内田さん、生徒会長の池田君、執行部・吹奏楽部の生徒、そして、豊北・下関北全ての生徒、先生方が、御来賓の方、保護者、地域の方に新しい学校として、力強いメッセージを送ってくれました。

本当にありがとう。

力強さというのは、どこから来るのか、考えてみました。

1年生の皆さん。2, 3年生の服装を見てください。制服を着崩したような生徒は一人もいません。今日は服装頭髪検査が行われますが、注意されるのがいやだから、きちんとしているのではないのです。彼らは、そんな格好じゃ、本当の気持ちは伝わらないってわかっているのです。それが、北高生です。

昨日の開校記念行事で、生徒会執行部・吹奏楽部は心を込めて新しい校歌を歌ってくれました。彼らは、そうすることが、新入生や保護者の方が、どう感じるのか、わかっているのです。それが北高生です。

だから、1年生の皆さんに、送ります。「先輩を見習え！そして、一日も早く北高生になれ！」

どの一人をとっても温かい先輩です。先輩と接する機会をたくさん作ってください。

しかし、今の2, 3年生もきっと最初から北高生ではありませんでした。北高生になっていったのです。昨年1年、今の2年生が、1年間かけて、先輩の姿を見ながら、北高生になっていく姿を見てきました。

なろうと、そうありたい、と思わないとなれません。「何となく練習していたら、オリンピックにでられちゃいました。」なんてアスリートは一人もいないはずです。オリンピックに出たい、こうありたいと明確な目標をもって、努力するから夢や希望は叶うのです。もう一度、自信を持っていいいます。「先輩を見習え！」

これは、裏返せば、2，3年生に対するメッセージでもあります。2，3年生よろしく頼みます。

今日の対面式では、もう一つ楽しみなことがあります。下関北高校の校歌を紹介しましたが、今日は、先輩方が豊北高校の校歌もみなさんに紹介します。これから、学校行事などで2つの校歌を歌うこともあるでしょう。1年生の皆さんには、この豊北高校の校歌も歌えるようになって欲しいと思います。

皆さんは、山崎まさよしというミュージシャンを知っていますか。防府西高校という山口県内高校の出身です。因みにSTU48の瀧野由美子さんも防府西高校出身で、そんな個人的な趣味はどうでもよいのですが、山崎まさよしさんが、防府市でコンサートを開いた時の話です。

彼は、コンサートを盛り上げるため、曲の間に、市内の高校の名をコールします。「多々良学園」いまでは、高川学園ですが、当時は男子校でしたので、「山崎」と「まさよし」とか、図太い声が会場から返ってきます。「防府商業」って声をかけると、今は防府商工になっていますが、当時は女子生徒が多かったので、黄色い歓声があがります。「防府高校」と呼びかけると、少し控えめに「山崎」とか、「まさよし」とか、声を上げて答えます。

そして、「防府西高校」と声をかけたとき、会場からどんな声があがったと思い

ますか。「先輩～」って声上がるんです。山崎まさよしに「先輩～」って、呼びかけ、答えることができるのは、後輩である防府西高校の生徒だけなのです。

校歌も同じです。その学校の校歌を歌えるのは、その学校で学んだ生徒だけです。

しかも、皆さんは、素晴らしいことに、二つの高校の校歌が歌えるようになります。

ここまでは、去年もいったこと。

今年は、これに北高らしさを加えたい。その学校にいた人にしか歌えないのが校歌かもしれませんが、この2校の校歌を地域の人にも口ずさめるようになれば、どんなに素敵でしょうか。「地域の人と一緒に。」これは、この学校のめざす姿でもあるからです。

ですから、しばらく、電車通学をしている生徒は、駅からの道のりを校歌を歌いながら登校してください。自転車に乗るときは、校歌を歌いながら登校してください。皆さんならできます。

と、本気9割、冗談1割で、対面式の挨拶とします。